

『平成』から『令和』日本経済の行方を聞く

日綿実業（現・双日）からオリエント・リース（現・オリックス）の創業メンバーとして参画し、45歳で社長に就任。33年余りトップを務め、多角的に事業を展開する世界でもユニークな企業グループに成長させる。また、政府の規制改革会議の議長として長年にわたり改革に挑んだ。神戸出身の83歳。オリックス・パファローズの球団オーナーでもある。私自身もその一人だが、チャームिंगな人柄に魅せられてやまないファンは数多い。経営からは退いたが、慧眼ますます円熟味を帯びる宮内義彦氏に、新たな時代「令和」を迎える記念すべき号でお話を伺った。

（聞き手・山口健）

原点にかえり地中海クルーズ

——いつも『味の手帖』の巻頭対談 面白いんです。ではお世話になっています。

この間、茂木友三郎さん（キッコーマン名譽会長）など、同年のお仲間

でクルージングに行かれていたとい

うお話を『味の手帖』で読まれた渡

辺美佐さん（渡辺プロダクション名

譽会長）が、「宮内さんたちはどち

らの会社のクルージングに行かれて

いるのかしら」と興味を持たれてい

ました。

小ぶりのクルーズ船に強みを持つ

ヨーロッパの会社なのですが、船内

設備も充実していて、料理もとても

です。

——今年はどこに行かれるのです

か？

これまであちらこちらに行きまし

たが、今年の夏は、原点にかえって

また地中海へ行く予定です。地中海

の島をまわる旅です。

——シニア・チエアマンになられて

どんな日常ですか。

海外からも来客があったり、メ

ディアの取材や講演に呼ばれたりし

ています。最近では、「平成を振り返

り」というテーマの取材も多かった

です。

——元号も変わって新しい時代にな

りますが、平成はどんな時代で、こ

れからどこに向かって行くのでしょ

うか。

大きな流れでみると、経済同友会

——元号も変わって新しい時代にな

りますが、平成はどんな時代で、こ

れからどこに向かって行くのでしょ

うか。

大きな流れでみると、経済同友会

——元号も変わって新しい時代にな

りますが、平成はどんな時代で、こ

れからどこに向かって行くのでしょ

大企業から変革起きない

——反転攻勢できるとしたら、ポイ

シジョンが起るとはとも思えな

い。

やはり若い人でしょう。問題意識

ややる気を持った若い世代がどれ

だけ現れてくるかがポイントです。

——なゼイノベーターへのベン

チャー投資が積極的に進まないの

で、日本はどうか。

ベンチャーに投資するためには、

その事業が伸びるのかどうか、目

利が必要で、しかし、日本でベン

チャーの目利きができる人は多く

ない。

特に大企業では、リスクを取らず

に変化を好まない、いわゆる官僚組

織になっており、そこからイノベ

ーが生まれない、という状況では

ない。

——投資という「リスクがある」と

悪いイメージでとらえられている

感じがします。ですから、ベンチャー

キャピタルも育ってこなかったの

だと思います。

衰退しても駄目にはならない日本

——元号も変わって新しい時代にな

りますが、平成はどんな時代で、こ

れからどこに向かって行くのでしょ

うか。

大きな流れでみると、経済同友会

——元号も変わって新しい時代にな

りますが、平成はどんな時代で、こ

れからどこに向かって行くのでしょ

うか。

大きな流れでみると、経済同友会

——元号も変わって新しい時代にな

りますが、平成はどんな時代で、こ

れからどこに向かって行くのでしょ

うか。

大きな流れでみると、経済同友会

——元号も変わって新しい時代にな

りますが、平成はどんな時代で、こ

れからどこに向かって行くのでしょ

うか。

（2面に続く）

トップ
インタビュー

9



オリックス 宮内義彦シニア・チエアマン